

高尚な皮肉

[ライブラリ](#)

合気と水の流れ

師範代「今日の稽古は以上ですが、見学の感想があれば聞かせて下さい」

見学者「ありますが、何も分からない内から見解を述べるのは失礼と存じますので、感想は控えます」

師範代「あるんですね。どんな事を思いましたか」

見学者「…。私は合気と流れ水を混同していました」

師範代「合気と流れ水!! お話し下さい」

見学者「川を板で塞ぐと、堰き止めた板のすぐ脇を流れる水もあれば、板から離れて遠くを流れる水もあり、いずれも、水は現在場所から最短距離を辿って目的場所へ流れて行きます。

合気は相手へ返しますので、目的場所がある点は水と同じですが、気が進む方向は、水が流れる『下』という自然な場所ではありません。

相手から放たれた気を相手へ返そうとするのは、低所の水を高所へ上げる不自然さと同じせいか、素振りが大きくなり、動きにムダが生じます。流れる水に不自然さはありません。

相手と気を合わせる『調和』が極意なら、精神修養をすればよく、体術は不要です。制圧が目的なら、やり方は他にいくらでもあります。

気の返し方が自然でも、相手へ返す不自然さがあり、合気は根底が不自然です」

心理回答者の思考法

「外部の変化は、自分の行為の作用である。二つは関係性がある」と思い込んでしまう心の動きを、心理学の理論を使って関係性の無いことが説明されても、数ある心理学理論の中から関係性のある理論を選んで説明していますので、回答者は相談者と同じ思考をしており、相談者は相談相手を間違えていることが分かります。

最終更新日 2026-07-29

[まこと](#)